

巻頭言

「持続可能な社会」の実現に向けて リコーがなすべきこと

株式会社リコー
コーポレート執行役員
Ricoh Futures BU プレジデント
小林 一則



「企業は社会の機関であり、その目的は社会にある。企業の目的の定義は一つしかない。それは、顧客を創造することである。」

私が組織運営をしていく上で尊敬するP.F.ドラッカー氏の著書「マネジメント」の言葉です。様々な要素が有機的に連携する社会において、顧客は進化し、変化し続けます。つまり、“今”見えている欲求だけでなく、常に“まだ見ぬ”新たな欲求を創造し、その価値を提供していくことが、企業の存在意義です。

リコーグループは、目指すべき持続可能な社会の姿を、経済 (Prosperity)、社会 (People)、地球環境 (Planet) の3つのPのバランスが保たれている社会「Three Ps Balance」として表しています。この目指すべき社会の実現に向け、「事業を通じた社会課題解決」「経営基盤の強化」「社会貢献」の3つの活動に取り組み、国際社会で合意された「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に貢献していくことを宣言しています。

また、ESGにおいては、非財務ではなく、数年後の財務につながる「将来財務」と位置づけています。ESGと事業成長は、それぞれ別々に進めるものではなく、お互いが両輪で噛み合っ成り立つものと考えています。

特に、「“はたらく”の変革」「地域・社会の発展」「脱炭素社会の実現」「循環型社会の実現」の4つを、事業を通じた解決に貢献する4つの重要社会課題 (マテリアリティ) と設定し、事業成長の加速と、持続可能な社会づくりに貢献していきます。

「“はたらく”の変革」「地域・社会の発展」「脱炭素社会の実現」「循環型社会の実現」、いずれの領域においても、解くべき課題は山のようにあり、“今”見えている欲求だけでも、リコー単独の力では充足できないでしょう。これまで以上に、Out of the box思考や、Open Innovationの必要性が高まっていくと考えます。一方、その具現化に向けては、社会の経済的負担、

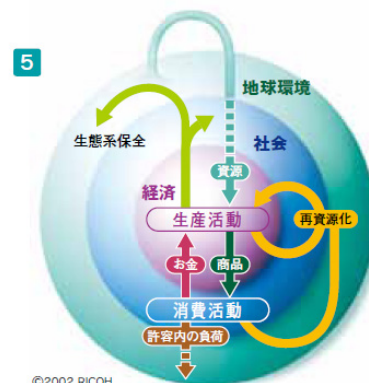


図. Three Ps Balance

技術的難易度、実感できる効果の時期、他の課題との優先順位等々の観点から、疑問の声が上がっていることも事実です。新たな課題に直面した際、その解決、行動に時間が掛かってしまうことは、これまでも人類が歴史上、辿ってきた道かもしれません。

しかしながら、私は信じたい。同じ地球に住む人類が、運命共同体として「共通善（より善い）」に向かって、共に進める未来を。そして、その一員としてリコーが存在し続けることを。

「持続可能な社会」の実現に向けてリコーがなすべきことの答えは、冒頭記載の通り「顧客創造」であり、その実現のための基本機能として、「マーケティング」と「イノベーション」の実践に他なりません。マーケティングは、顧客からスタートし、「顧客が価値ありと判断し、必要とし、求めている満足がこれであると言えること」と、P.F.ドラッカー氏は続けます。「持続可能な社会」の実現、すなわち社会課題の解決は、まだ一部の方にとって、“今”見えている欲求ではないかもしれません。が、我々が信じる“まだ見ぬ”新たな欲求として創造し、その価値を提供していくことが、リコーの存在意義です。そして、その具現化はイノベーションによって成し遂げられます。

世の中には様々なイノベーションの定義があり、分類があり、手法があり、事例があります。いずれにおいても、「新たな顧客価値を創造する。結果として経済や社会に変化をもたらす」という基本は変わらないと思います。大手商談技術支援活動、新規事業創出活動を通じて、多くのお客様、未来のお客様接点の大切さを学び、顧客からスタートすることの重要性、意味を痛感しているからこそ、技術が成し遂げるイノベーションに期待しています。

技術、技術者の素晴らしさは、「昨日まで世の中になかったものを具現化できること、それを自らが実行できること」だと考えています。その具現化の道りは決して平たんではなく、多くの試練が待ち構えています。ただし、顧客価値を創造できたその先には、今まで誰も見たことのない壮大な景色が広がっています。リコーグループの技術者には、この険しくも、素晴らしい技術開発に、熱意を持って取り組んで頂きたいと願っています。

創業以来、“はたらく”に寄り添い続け、環境保全と利益創出を同軸にとらえる環境経営に早くから取り組み、地域・社会、そして地球の一員として、持続可能な社会を目指し取り組んできたリコーの“今”の技術を皆様にお伝えすると共に、これからも変わらず、「持続可能な社会」の実現に向けて取り組み続けることをお約束し、巻頭の言葉と致します。